

2023年度(令和5年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	74.42	23.26	2.33	0.00
女子	62.16	32.43	2.70	2.70

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	76.74	23.26	0.00	0.00
女子	64.86	32.43	2.70	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	58.14	27.91	9.30	4.65
女子	35.14	48.65	16.22	0.00

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.48	18.67	35.74	35.77	42.52	9.30	158.23	21.68	51.85	女子	15.95	16.73	40.97	35.00	34.65	9.52	147.92	13.35	54.22

県平均値(R5)かつ全国平均値(R5)未満

重点課題および要因

情意面

・体育授業を通し、運動について興味関心が高まっている。しかし、日常的に運動することができていない児童が2割弱いる。授業を通して、児童は、運動が楽しいという思いを持っているが、運動に熱中したり、達成感を感じたりして「もっとやってみよう」という思いをもつまでには至っていない。

体力面

・反復横跳びの結果は、男女ともに県平均を約5ポイント下回っており、特に敏捷性に課題が見られる。体育授業では、サッカーやバスケットボールを通して、敏捷性につながる切り返す運動を行っているが、さらに多様な敏捷性を育てる運動を工夫して取り入れ、運動遊びにつながる必要がある。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・児童自らが課題に合った運動を選んで取り組む場を設定し、一人一人が自分のペースで運動に慣れ親しみ、達成感を味わうことができるようにする。
・体育授業に障害物をよけながら走るウォーミングアップや鬼ごっこ、ゴール型の運動等を工夫して取り入れ、敏捷性につながる動作を継続して経験できるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

・寄付されたグローブやボールを活用する等児童が運動への興味を持つよう工夫し、様々な運動に慣れ親しむ機会を設ける。
・スポーツ週間を設定し、ステップアップカードを活用して目標をもって運動に取り組み、自分自身の体力向上を実感できるような振り返りを行う。
・体育館を開放し、敏捷性につながる運動遊びを紹介する等、児童が熱中して運動する場を工夫する。

2024年度(R6年度)の重点目標値

・「月に1~3日くらい、授業以外で運動やスポーツに親しむ」児童の割合を10%以下を目指す。
・反復横跳びの項目が、全国平均及び県平均を上回ることを目指す。